

東医大発第 248 号
令和 3 年 10 月 4 日

国公立大学長
国公立大学医学部長 殿
関係機関の長

東京医科大学
学長 林 由起子
(公印省略)

消化器・小児外科学分野担当後任主任教授候補者の公募期間延長について（依頼）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では消化器・小児外科学分野担当の後任主任教授を公募しておりましたが、このたび、引き続き公募期間を延長することといたしました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴学並びに関係機関に適任の方がおられましたら、ご推薦賜りたくお願い申し上げます。

候補者の方には、選考の過程でご来学の上、面接・ご講演いただく場合がありますので、あらかじめご承知置き下さいますようお願いいたします。

また、本学では任期制を導入しており、任用期間 8 年（再任可）となっておりますことを申し添えます。

謹白

記

- 1 提出書類
 - 1) 履歴書 様式(1)
 - 2) 教育歴 様式(1)-2
 - 3) 業績目録 様式(2)～様式(6)
 - ・別紙記入要領を参照して下さい。
 - ・学術関連広報活動の様式は任意です。
 - 4) 手術件数（3 年間） 様式(7)
 - 5) 手術記録（過去 3 年間の中から 10 件）
 - 6) 論文別刷 代表的な論文のうち 10 編の別刷 3 部（コピー可）を添付して下さい。
 - 7) 本分野を担当するにあたり、教育・研究・診療についての実績・方針・抱負を、A4 サイズ横書きで 1,200 字以内（ワープロ）にまとめてご提出下さい。
 - 8) 推薦書がございましたらご提出下さい。
※上記様式については、本学ホームページの採用情報よりダウンロードして下さい。
- 2 提出期限 令和 3 年 11 月 5 日（金）【必着】
- 3 提出先 〒160-8402 東京都新宿区新宿 6-1-1
東京医科大学 人事課
電話 03-3351-6141（内線 376・370・379）

※ 東京医科大学は男女共同参画を推進しています。女性候補者の積極的な応募を歓迎します。ただし、これは性別のみで優先的に採用することを認めるものではありません。

以上

「履歴書」・「業績目録」の記入要領

＜履歴書＞

履歴書について……様式(1)

- 1) 西暦年で記入しワープロ等で印字して下さい。各項目が網羅されていれば枠の広さ等は自由です。
- 2) 性別は、男女の別を○で囲んで下さい。
年齢は、履歴書作成日現在の満年齢を記入して下さい。
- 3) 学歴欄には高等学校卒業以降（大学院の場合は単位取得、学位を有しない場合は退学まで）のすべての学歴を記入して下さい。
- 4) 免許欄には医師・歯科医師等業務に関連する免許証登録番号及び登録年月を記入して下さい。
- 5) 学位欄には学位名、取得大学名、学位番号及び取得年月を記入して下さい。
- 6) 職歴・研究歴欄には、職歴と研究歴のすべて（国外留学、国内留学を含む）を順次記入して下さい。
- 7) 賞罰欄には、大学、学会、医学団体等からの受賞（学術奨励賞、研究奨励賞）その受賞年月も記入して下さい。
- 8) 主たる所属学会及び役員欄には、現在所属している学会名、現職の役職等を記入して下さい。
（例）○○学会会員、評議員、理事
国外における所属学会(国際学会含)で active member は証明書を添付して下さい。
- 9) 主たる学会認定医・専門医等欄には、日本医学会に含まれる各学会で取得した認定医、専門医などを記入しそれぞれ取得番号を付して下さい。
- 10) その他欄には社会における活動、行政機関から委託された委員会及び役職名等を記入して下さい。
- 11) 教育歴のある方は、a 今年度受持授業時間のほか、教育業績、学内外の教育関連の役職、FDやワークショップ等の参加歴、b 医療安全・感染症・個人情報保護・研究費・研究倫理の研修会参加歴、研究倫理研修(eAPRIN)の受講の有無、また、臨床系医師の方は、厚生労働省認定の指導医講習会の参加歴を併せて様式(1)－2に記入して下さい。

<業績目録>

業績目録は、別記様式を遵守し、I) 著書、II) 学術論文（原著、総説、症例報告、その他の学術論文）、III) 学術刊行物（研究報告、その他の学術刊行物）、IV) 学会及び研究会発表（a. 国際学会、b. 国内学会、地方会及び研究会）、V) 受領した競争的研究助成金、VI) 手術件数、VII) 手術記録、VIII) 学術関連広報活動及びその他に分類し、それぞれ別葉とします。各様式の(注)にならい、最近の年次から順に西暦年で記入し、ワープロ等で印字して下さい。記入方法について特に指定のない場合は、すべて記入して下さい。各項目順に枠を設けてもかまいません。

I) 著書について……様式(2)

単行本、叢書、また分担執筆（辞書、全集なども含む。）、翻訳、編集及び監修等を記入して下さい。分担執筆は、分担題名を記入し、頁はその該当する頁のみを記入して下さい。（同一著書内での複数項目の分担は合わせて一編とし、2項目からは分担題名、頁のみ記入）

II) 学術論文について……様式(3)

①原著、②総説、③症例報告、④その他の学術論文別に記入して下さい。

①原著：学術誌に掲載された独創的な内容の学術論文で、他の学術誌に掲載されていないもの

②総説：展望などを含み学術誌に掲載されたもの

③症例報告：学術誌に掲載された症例報告

④その他の学術論文：短報、レター、図説、臨床治験及びプロシーディング等で学術誌に掲載された論文

※ なお、ここでいう学術誌とは Index medicus、Science Citation Index あるいは医学中央雑誌に登録されているか、レフェリーシステムを有する権威ある学術雑誌（商業誌を含む。）です。

共同執筆者は筆頭者より3名以内とします。但し、本人が該当しない場合のみ4人目に本人の氏名を記載しアンダーラインを引いて下さい。

投稿中の論文は記入しないで下さい。（印刷中のものは認めますが、掲載証明の添付を要します。）

※ 「区分」欄 … 学術論文でのあなたの役割を次にならって記入して下さい。

第1筆者 (1st author) の場合 1

第2筆者 (2nd author) の場合 2

最終筆者 (Last author) の場合 L

コレスポンディング・オーサー
(Corresponding author) の場合 C

コレスポンディング・オーサーとその他の上記役割が重複する場合は、併記して下さい。なお、コレスポンディング・オーサーについては、上記と重複しない場合のみ、それを証明するもの（該当論文中のコレスポンディング・オーサーであることがわかる頁のコピー等）を添付して下さい。証明するものがない場合には、該当論文の筆頭者と最終筆者の証明（様式任意）を作成下さい。

その他

空欄

※「発表誌名」…英文論文の場合は最後にインパクトファクター（2020年版）を記入して下さい。

（記入例） 発表誌名, 発表年, 巻: 初頁~終頁, I F 〇〇. 〇〇〇

Ⅲ) 学術刊行物について(レフェリーシステムの有無を問いません。)……様式(4)

①研究報告、②その他の学術刊行物別に記入して下さい。

①研究報告: 公的機関刊行物、またはこれに準ずる各種学術団体及び委託研究の成果報告で、論文形式(はじめに、方法、結果…)を整えたもの(前述Ⅱ)の④以外のプロシーディングを含む。)

②その他の学術刊行物: 教育、解説及び医学講座、ガイドライン等

共同執筆者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法と同様とします。

Ⅳ) 学会及び研究会発表について……様式(5)a及びb

a 国際学会、b 国内学会、地方会及び研究会別に用紙を分け、さらに①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等、③共催セミナー等に分類し記入して下さい。共同発表者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法に準じます。20編以上ある場合は、代表する20編を記入し、最後にその他何編と記入して下さい。

Ⅴ) 受領した競争的研究助成金について……様式(6)

年度、研究費の名称、題名、代表または分担について記入して下さい。

Ⅵ) 手術件数について……様式(7)

2018年4月から2021年3月までに携わった手術件数を記入して下さい。

Ⅶ) 手術記録について

2018年4月から2021年3月の術者としての代表的な手術記録のコピー10件を提出して下さい。(患者氏名、性別、生年月日等個人を特定できる情報は消去して下さい。)

※ コピーはA4版でお取り下さい。

※ ご提出いただいたコピーは選考以外の目的に使用いたしません。

※ なお、ご提出いただいた手術記録の中から、ビデオ講演をしていただく場合がありますので、その点ご配慮下さい。

Ⅷ) 学術関連広報活動及びその他

学術関連広報活動は、マスメディア、セミナー及び年報など業績として記録しておくにふさわしい活動を記入して下さい。

※ 所定用紙はありませんので、自由に作成して下さい。

1. 履 歴 書 (記入例)

(すべて西暦にてご記入下さい)

年 月 日現在

ふりがな 氏 名 男・女 印	本籍地 もしくは国籍	東 京 (都)道・府・県
生年月日	年 月 日 (歳)	電 話	現住所 〒 - 自 宅 勤務先
現 職 名	◎◎ 大学 講師 ○○科学講座	F A X	
		e-mail	
学 歴 高校卒業以降を 記入すること	年 月	○○○ 高等学校 卒業 ○○○ 大 学 ○○学部 入学 単科大学の場合学部は不要 ○○○ 同 上 卒業 ○○○ 大学大学院医学研究科 ○○○ 学専攻博士課程 入学 ○○○ 同 上 単位取得 ○○○ 同 上 退学	
免 許 等	年 月	免許証 (第 号)	
学 位	年 月	博 士()(大学 第 号)	
職 歴 研究歴 (外国留学も含む)		○○ 大学病院 ○○科学講座臨床研修医として勤務 ○○ 病院 ○○医員として出張 同上出張中に臨床研究医 同上から帰任し臨床研究医として ○○科学講座勤務 ○○ 大学◎◎病院 ○○科臨床研究医として異動 同上から異動し臨床研究医として ○○科学講座勤務 ○○ 大学 助手 ○○科学講座勤務 ○○ 病院 ○○医長として派遣 同上から帰任し助手として○○科学講座勤務 ○○ 大学◎◎病院 ○○科助手として異動 同上から異動し助手として○○科学講座勤務 同上退職 △△ 大学 助 手 ○○講座教室 勤務 ○○国 ○○大学へ○○○○研究のため留学 同上から帰国し助手として○○科学講座勤務 同上退職 ◎◎ 大学 講 師 ○○科学講座勤務し現在に至る	
賞 罰	年 月		
主たる所属学会 及び 役員	日本○○学会会員		
主たる学会認定医 専 門 医 等	日本○○学会認定医 (第○○号)		
そ の 他			

1. 履 歴 書

年 月 日現在

ふりがな 氏 名		本籍地	都・道・府・県		
	男・女 印		もしくは国籍	現住所	〒 -	
生年月日	年 月 日 (歳)		電 話	自 宅	勤務先	
現 職 名			F A X			
			e-mail			
学 歴 高校卒業以降を 記入すること	年 月					
免 許 等	年 月	免許証 (第 号)				
学 位	年 月	博 士 () (大学 第 号)				
職 歴 研 究 歴 (外国留学も含む)						
賞 罰	年 月					
主たる所属学会 及び 役 員						
主たる学会認定医 専 門 医 等						
そ の 他						

1-2.教育・研修歴

氏名 _____

③ 研修会の参加歴【医療安全・感染症・個人情報保護・研究費・研究倫理】

年 月 日	研修会・機関名(会場)	研修内容	備考
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

④ 研究倫理研修の修了

eAPRIN (e-learning) 受講の有無

一般財団法人公正研究推進協会(APRIN)

 修了 未修了

※修了:8単元以上(修了証を添付すること)

⑤ 厚生労働省認定の指導医講習会の修了【臨床医学】

(助教以外は記入してください)

 修了 未修了

業績目録

2. 著書

(2)

氏名

(例) 1.,新宿太郎,東京花子,リンパ節,臨床研修医のための〇〇, Okubo S, 〇〇出版社, 2012,18-21

(注)

1. No., 著者名, 分担題名(単著の場合不要), 著書名, 編者又は監修者, 発行所又は出版社, 発行年, 頁の順に, 新しいものから年代順に記入して下さい。
また, 前記の順に記載があれば, 適宜見出し, 枠等を設けることは問いません。

3. 学術論文(原著・総説・症例報告・その他)

氏名 _____

(例) ①原著

1., Shinjuku T, Tokyo H, 1, The Cell of ○○…activity., J.Cell Biol., 2013, 18:45-47, IF:9.575

③症例報告

1., 新宿太郎, 大久保三郎, 東医次郎, 東京花子, ○○で発症した○○の一例, 東医大誌, 2013, in Press

(注)

1. ①原著、②総説、③症例報告、④その他の学術論文別に番号を付して、新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 執筆者氏名(共同執筆の場合は、筆頭者より3名以内。但し本人が該当しない場合のみ4人目にアンダーラインを引き記載), 区分, 論文題目, 発表誌名, 発表年, 巻:初頁~終頁, インパクトファクター(IF)の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

4. 学術刊行物

氏名 _____

(例) ②その他の学術刊行物

1.,東京花子,東医次郎, ○○の予防と○○, 月刊○○医学, 2013, 52:152-160

(注)

1. ①研究報告、②その他の学術刊行物別に番号を付し、新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より3名以内。但し本人が該当しない場合のみ4人目にアンダーラインを引き記載), 論文題目, 発表誌名, 発表年, 巻:初頁~終頁の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

5-a. 国際学会

氏名 _____

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等
- ②一般演題及びポスター発表等

(例) ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等

1., Tokyo H, Shinjuku T, Signal transduction of...differentiation., 7th American Society of○○
(Symposium), 2011.5

(注)

1. ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等別に、代表する 20 編を新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より 3 名以内。但し本人が該当しない場合のみ 4 人目にアンダーラインを引き記載), 演題名, 発表機関(学会名), 発表年月の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

5-b. 国内学会、地方会及び研究会

氏名 _____

- ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等
- ②一般演題及びポスター発表等

(例) ②一般演題及びポスター発表等

1., 大久保三郎, 東京花子, 東医次郎, ○○の役割の解明と検討, 第8回日本○○学会学術集会, 2013.4

(注)

1. ①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等、②一般演題及びポスター発表等別に、代表する20編を新しいものから年代順に記入して下さい。
2. No., 発表者氏名(共同発表の場合は、筆頭者より3名以内。但し本人が該当しない場合のみ4人目にアンダーラインを引き記載), 演題名, 発表機関(学会名), 発表年月の順に記入して下さい。
また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

6. 受領した競争的研究助成金

氏名 _____

(例) 1., 2013 年度, 科学研究費補助金基盤研究(B), ○○を用いた新規治療法の開発, 分担

(注)

1. No., 年度, 研究費の名称, 補助を受けた研究題名, 代表者若しくは分担者の別を、新しいものから年代順に記入して下さい。

また、前記の順に記載があれば、適宜見出し、枠等を設けることは問いません。

7. 手術件数

氏 名 _____

手術件数(2018年4月～2021年3月)

領域	手術術式	術者としての経験数			(指導的)助手としての経験数		
		開腹・開胸	内視鏡下	ロボット支援下	開腹・開胸	内視鏡下	ロボット支援下
食道	食道噴門形成術						
	食道切除再建術						
胃・十二指腸	幽門側胃切除術						
	噴門側胃切除術						
	胃全摘術						
	左上腹部内臓全摘術						
小腸・結腸	腸閉塞手術						
	小腸切除術						
	S状結腸切除術						
	結腸右半切除術						
	結腸左半切除術						
	結腸全摘除術						
直腸	高位前方切除術						
	低位前方切除術						
	Hartmann手術						
	直腸切断術						
	骨盤内臓全摘術						
肝	肝部分切除術						
	肝区域切除術						
	系統的亜区域切除術						
	肝葉・拡大肝葉切除術						
	肝移植術						
胆道	胆石症手術						
	胆嚢悪性腫瘍手術						
	胆管悪性腫瘍手術						
膵	膵部分切除術						
	膵体尾部切除術						
	膵頭十二指腸切除術						
	膵全摘術						
	膵移植術						
脾	脾摘術						
小児外科	鼠径ヘルニア手術						
	先天性食道・腸閉鎖手術						
	幽門筋切開術						
	鎖肛根治術						
	胆道閉鎖手術						
	胆道拡張手術						
	肝移植術						
	泌尿器・婦人科手術						
その他							
合計							

※本表以外の術式を記載する場合は、適宜行を追加して作成してください。

※本表は候補者の専門性を判断するものであり、手術件数の多寡を競うものではありません。